

第4章 計画の内容

基本方針と各施策、施策に対応する課題一覧

基本方針及び施策	対応する課題										
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)
基本方針1 だれもが使える図書館											
1-1 だれもが利用しやすい環境の整備	●	●					●				
1-2 図書館情報の発信や入手支援	●	●					●				
1-3 若者の図書館利用の促進	●	●							●		
1-4 高齢者サービスの充実	●	●		●			●		●		
1-5 多文化サービスの充実	●	●		●			●		●		
1-6 読書バリアフリーの推進	●	●		●			●	●	●		
基本方針2 一人ひとりの子どもに寄り添うサービス											
2-1 本に親しむ機会の充実			●								
2-2 子どもが自分から読みたくなる環境づくり			●								
2-3 一人ひとりの発達段階に合わせた適切なサービスの提供	●		●				●		●		
2-4 子どもに関わる施設・教育機関・団体・個人への協力・支援・連携			●					●			
2-5 多摩市立小中学校への協力・支援・連携			●				●		●		
基本方針3 市民のしらべるを支え、役立つ図書館											
3-1 蔵書・電子書籍の充実と活用促進				●			●		●		
3-2 多様な情報源を活用したレファレンスサービスの提供・充実					●		●		●		
3-3 地域資料等の活用による課題解決支援や地域文化の継承				●			●		●		
3-4 読書活動に関心を高めるための事業の実施		●									
3-5 読書活動に取り組む団体の協力・支援・連携	●		●								
3-6 各図書館の地域性を活かしたサービスの提供						●			●		
基本方針4 持続可能な図書館の管理・運営体制の充実と強化											
4-1 各図書館の機能強化・運営体制の整備									●	●	●
4-2 ICTの活用によるサービス向上・効率化							●				
4-3 ボランティア活動の促進	●	●	●					●			
4-4 職員の専門性向上と関係機関との情報共有の促進									●		
4-5 市民ニーズの把握・反映						●					

<対応する課題一覧表>

- (1) 世代や障がい、性別、人種や国籍など多様な背景をもつ人々の読書や必要な情報を入手できる環境の充実
- (2) 未利用者への働きかけ、情報発信及び提供の強化
- (3) 子どもの読書環境や学習支援、居場所としての活用促進
- (4) 蔵書の充実、活用と適正管理（電子書籍を含む）
- (5) 市民の課題解決のためのデータベース等、図書館資料の利活用の促進
- (6) 図書館ごとの特徴を生かした魅力化、ニーズの把握
- (7) ICTの活用、DXの推進
- (8) 市民協働の促進、担い手の養成
- (9) 職員の育成
- (10) 試行で運営している図書館（東寺方・唐木田図書館）の運営方法の検証
- (11) 施設の老朽化対策

第4章 計画の内容

基本方針1 だれもが使える図書館

中央図書館を中心として分館及び分室を運営することにより、市民一人ひとりが身近なところで気軽に利用できる図書館を目指します。市民のニーズや年代、特性、地域の事情の把握に努め、だれもが文字・活字文化に触れ、充実した読書や学習することができるように配慮します。子どもはもちろん、若者や高齢者の図書館利用を促進するとともに、外国語を母語とするため、日本語を読むことが難しい市民を対象とした多文化サービスの充実、通常の方法で図書館を利用することに障がいがある方をはじめ、あらゆる市民が読書や必要な情報を入手できるようサービスの充実や環境の整備に努めます。

図書館利用の第一歩は図書館のことを知ってもらうことです。図書館が提供する情報を利用していない方にもサービス内容が届くよう、あらゆる市民に対し様々な手段で広報を行います。

【施策】

- 1-1 だれもが利用しやすい環境の整備
- 1-2 図書館情報の発信や入手支援
- 1-3 若者の図書館利用の促進
- 1-4 高齢者サービスの充実
- 1-5 多文化サービスの充実
- 1-6 読書バリアフリー¹の推進

¹ 読書バリアフリー：障害の有無にかかわらず、すべての人が読書による文字・活字文化の恩恵を受けることができるように環境整備やサービスを整えること

【取組み内容】

施策1-1 だれもが利用しやすい環境の整備

世代や障がい、性別、人種や国籍など多様な背景がある人々の読書環境や必要な情報を入手できる環境を整備します

取組事項	概要	具体的な取組み例
本に親しめる環境の整備	様々な世代や障がいなどの背景がある人が読書や本を身近に感じ利用できる環境の整備を進めます	・利用者のニーズに沿った選書 ・講演会や読書会など様々なイベントの検討実施 ・身近なテーマのコーナーの設置 ・時事的な企画展示や多摩市役所 庁内各課（以下、「庁内各課」という）と連携した企画展示の実施
非来館型サービスの拡充	図書館に来館しなくても読書や情報が入手できる環境の充実を図ります	・多摩市電子図書館のコンテンツの充実 ・図書館ホームページ上での検索機能についてAIなどデジタル技術を活用した新しいサービスの検討・提供
居場所としての環境の整備	読書や学びだけでなく、居場所としても利用できる環境を整備します	・障がい者や乳幼児を連れた保護者などだれもが安心して気軽に立ち寄ることができる環境の整備 ・わかりやすい利用案内、サインの工夫
子育て世代の図書館利用の促進	乳幼児を連れた保護者など子育て世代の図書館利用を促進します	・ベビーカー置き場、授乳室の確保や案内 ・子育て中の保護者が図書館を気軽に利用できるよう講座等での一時保育の検討 ・子育てに関する本や関係機関の情報提供



多摩中央公園BOOKパークでの
読み聞かせの様子



パルテノン多摩と連携した自動演奏
楽器ミニコンサートの様子

施策1-2 図書館情報の発信や入手支援

読書や個人の課題、地域課題の解決に役立つ図書館の利用方法や情報の入手方法について支援します

取組事項	概要	具体的な取組み例
様々な媒体を活用した広報活動	図書館の利用方法や情報の入手方法について様々な媒体を活用した広報を実施します	・電子や紙など様々な媒体での情報発信の充実 ・広報対象者に適した効果的な情報発信及び情報提供場所の拡大検討 ・ICTを活用した情報発信の実施（メールマガジン配信の検討）
図書館利活用情報の入手支援	読書や学習に役立つ図書館資料の検索、情報の入手や活用支援を図ります	・図書館システムを使った検索方法や便利な機能の紹介及び操作支援 ・多摩市電子図書館や多摩市デジタルアーカイブ、商用データベース等の利用講座等の実施



多摩市立図書館ホームページ



デジタルサイネージ

施策1-3 若者の図書館利用の促進

図書館利用が少なくなる若者世代に読書や学習について支援するため、読書の楽しさや図書館の魅力を伝える取組みを実施し、利用促進を図ります

取組事項	概要	具体的な取組み例
若者のグループ学習利用の促進	個人だけでなく、グループ学習ができる環境を整備し、資料や情報を提供します	・若者が個人だけでなくグループで声を出して学習できる環境の整備 ・必要な資料や情報の提供
若者を対象としたイベントの実施	図書館利用が少なくなる若者が図書館を身近に感じ、利用のきっかけとなるイベントを実施します	・若者が興味を持つようなテーマでの読書や図書館に関するイベントの実施 ・関係機関等と連携した図書館に来館するきっかけとなるようなイベントの実施
地域ビジネス支援情報の収集・提供	地域ビジネス支援やキャリアアップ、資格取得のための資料や情報提供を行います	・ビジネス関係の資料やデータベースを充実させ、利用促進のためのPRの実施 ・関係機関と連携した起業などのビジネス支援の実施



小学生対象のバックヤードツアーの様子



ティーンズコーナーとラーニングコモンズ



市内高校との連携企画展示

施策1-4 高齢者サービスの充実

高齢になっても読書や学習、必要な情報が入手できるよう、高齢者向け資料の充実を図るとともに利用しやすい環境やサービスを提供します

取組事項	概要	具体的な取組み例
高齢者の図書館利用の支援	視力の低下や認知症等、加齢による健康上の理由で図書館が利用しにくい高齢者への利用支援を充実させるとともに、高齢者の読書や学習、情報入手を支援します	・老眼鏡や杖置きなどの環境の整備 ・大活字本やオーディオブック²などの資料の充実と案内 ・電子書籍やオーディオブックの利用促進のため電子図書館やスマートフォンの利用説明会の実施
シニアコーナーの設置、充実	高齢者の関心が高いテーマや生活に役立つテーマの本や役立つ情報を紹介するコーナーを設置します	・高齢者に関心が高いテーマの本や高齢者向けの情報などを集めたシニアコーナーの設置と充実
高齢者関係施設や機関との連携、イベントの実施	高齢者対象のイベントや認知症など市民の関心を深める講座や展示等を実施し、高齢者向けサービスの周知を図ります	・高齢者施設への団体貸出や入所者への宅配サービス等の周知、利用促進 ・高齢者関係施設等と連携した高齢者向けイベントの実施 ・認知症などについて市民の理解を深める展示やイベント等の実施



高齢者対象イベントの様子



高齢者関係施設と連携したイベントの様子

² オーディオブック：声優などのナレーターが書籍を朗読した音声をデータ化したデジタルコンテンツのこと。耳で朗読を聴くため、別名「聴く本」とも呼ばれている

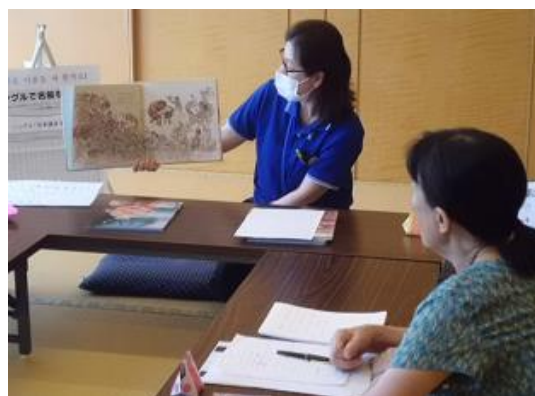
施策1-5 多文化サービスの充実

日本語を母語としない方が図書館で読書や情報入手ができるよう外国語資料の充実を図るとともに情報発信を行います。資料の充実や情報提供により多文化共生の理解促進を図ります

取組事項	概要	具体的な取組み例
外国語資料や日本語学習資料の充実・提供	市内在住の外国人の方が情報を得られるよう外国語資料や日本語学習資料の充実を図ります	・外国語資料や外国語と日本語が併記された資料、日本語学習資料の充実 ・音声付き外国語資料や多言語の電子書籍の充実 ・外国語や外国語資料を用いてのおはなし会の実施
多文化サービスに関係する機関等と連携した取組み	市内在住の外国人の方へ関係機関を通じての情報提供やニーズの把握に努めます	・外国人向け生活情報紙に図書館利用や資料の情報を掲載 ・市内在住の外国人へのアンケートの実施
やさしい日本語や多言語による情報発信	日本語を読むことが難しい方にも図書館で情報を得ることができるよう多言語やさしい日本語による情報発信に努めます	・多言語・多文化コーナーの設置 ・窓口や図書館ホームページでの多言語やさしい日本語による利用案内の充実



外国語の絵本のコーナー



外国語絵本の読み聞かせ

施策1-6 読書バリアフリーの推進

通常の印刷文字による読書が困難な方や図書館に来館して利用することが困難な方、図書館の利用に特別な配慮が必要な方の読書や学習、図書館利用を支援します

取組事項	概要	具体的な取組み例
個々の特性に応じたサービスの提供・拡充	個々の障がい特性にあった読書や学習ができるサービスを提供、拡充します	・障がい者サービス資料の作成、サピエ図書館等の全国的なネットワークを利用した貸出、提供 ・宅配サービスや対面朗読の実施 ・車椅子利用者が利用しやすい環境整備 ・音訳資料等の利用体験、操作支援、再生機器の貸出 ・手話おはなし会の実施
だれもが利用しやすいアクセシブルな書籍等の充実	様々な障がいがある方が利用できる音訳資料やLLブック ³ などのだれもが利用しやすい書籍の充実を図ります	・だれもが利用しやすい書籍の作成、受入 ・読み上げ対応しただれもが利用しやすい電子書籍の購入
点訳者、音訳者、電子データ製作者等の計画的な人材養成	希望する音訳資料等を提供するため音訳者等の製作協力者等を計画的に養成します	・養成講座の実施や外部講座の紹介 ・スキルアップ講座の実施
関係機関等と連携した障がい者サービスの周知	当事者だけでなく、周囲にいる人も含めた市民全体へ障がい者サービスについての周知を行います	・共生社会としての拠点作りの一環として、バリアフリー対応映画の鑑賞会や障がい者に話を聞くヒューマンライブラリーの検討・実施 ・障がい者を対象としたスマートフォン教室の実施 ・「りんごの棚」⁴の充実・周知



対面朗読室



車椅子専用席



りんごの棚

³ LLブック:LLとはスウェーデン語のやさしくめるという意味の「LättLäst」の略で、やさしい文章やピクトグラム、写真などが使われ誰もが読書を楽しめるようにつくられた本のこと

⁴ りんごの棚:LLブックや大活字本など様々な利用しやすい形式の資料を集めた棚のこと

【評価指標】

評価指標	令和6年度実績	令和11年度末の目標
0～5才の利用率（年度延べ貸出者数を年齢別人口で割った数値）	1.30%	1.5%以上
10代後半と20代の利用率	10代後半:1.63% 20代:2.18%	10代後半:2.0%以上 20代:2.5%以上
だれもが利用しやすい資料の蔵書数	9,649 点	13,300 点

コラム

「読書バリアフリーについて」

「読書のバリア」とは、例えば視覚や身体の障害、読み書きに障害が生じるディスレクシア等のために活字の本が読めないことが挙げられます。障がい者サービスでは「読書バリア」を取り除くため、4点のサービスがあります。1点目は音訳資料（音で聞く図書）・点訳資料（点字で読む図書）サービスです。2点目は、対面で資料を読みあげる対面朗読サービスです。3点目は、図書館に来館できない利用者の自宅や入院先へ資料を届ける宅配サービスです。4点目は、L1ブック（やさしく読みやすい本）などだれもが利用できる資料の貸出です。

障がい者サービスでは、上記のような様々な「読書」のスタイルを提供しています。周囲に「読書がしたいのにできない」と悩んでいる方がいたら、ぜひこの障がい者サービスを伝えてください。図書館といっしょに「読書バリア」をなくしていきましょう。



スロープ



障がい者サービスコーナー



りんごの棚

基本方針2 一人ひとりの子どもに寄り添うサービス

0歳から18歳の高校生世代までの多摩市のすべての子どもたちが、人生をより深く生きる力を身につけ、自分を育てる手立てとして、様々な資料を生涯活用できるよう、いつまでも読書に興味関心を持ち、楽しむことができるよう、必要なサービスを提供します。

幼いころから多くの言葉を聞くことは、自然に語彙を増やし、想像力や集中力が養われる大切な機会となります。言葉はあらゆる精神活動の土台であり、生きるための学びにつながっていきます。楽しみのうちに様々な資料に出会うために、本を読んでもらえる環境や個々の発達段階、興味関心に合った資料と出会える蔵書構成や利用案内を充実させ、子どもたちが快適に読書や調べものを楽しめる環境の整備を行います。

また現代社会においては、膨大な情報を正しく読み取り、価値や正誤を選別する力が不可欠となっています。このような能力(情報リテラシー)を身につけていくことは、学習する時や進路、将来について考える際だけでなく、生涯に渡り必要となります。そのため、子どもたちが情報リテラシーを身につける支援をします。

【施策】

- 2-1 本に親しむ機会の充実
- 2-2 子どもが自分から読みたくなる環境づくり
- 2-3 一人ひとりの発達段階に合わせた適切なサービスの提供
- 2-4 子どもに関わる施設・教育機関・団体・個人への協力・支援・連携
- 2-5 多摩市立小中学校への協力・支援・連携

【取組み内容】

施策2-1 本に親しむ機会の充実

一人ひとりの子どもが生涯に渡って継続した読書活動を獲得できるよう、個々の発達段階や興味関心に合わせたイベント、楽しい読み聞かせなどに参加できる機会を作ります

取組み事項	概要	具体的な取組み例
おはなし会の充実	本の世界、物語の世界への楽しみを手渡し、読書への橋渡しとなるおはなし会を実施します	・定例おはなし会の実施 ・赤ちゃんおはなし会の実施 ・子ども自身による読み聞かせに関わる活動への支援
イベントの充実	読書活動につながる講座やワークショップ等を実施します	・「子ども読書まつり」の実施 ・子ども自身による読書活動に関わる活動への支援
保護者への働きかけ	保護者自身が家庭での読み聞かせや読書に興味や関心を持てるよう働きかけ、実践を促していきます	・ブックスタート絵本かたりかけ事業⁵の実施 ・一人ひとりの子どもの発達段階や特性に合わせた資料選びと読み聞かせの案内 ・プレママプレパパ期からの家庭での読み聞かせへの案内



おはなし会の様子



ブックスタート多摩市絵本かたりかけ事業の様子



子ども読書まつり《ほんともフェスタ》講演会の様子

⁵ ブックスタート絵本かたりかけ事業：赤ちゃんと一緒に絵本の世界を楽しむきっかけとして3～4カ月児健診を迎える赤ちゃんに絵本をプレゼントする事業のこと

施策2-2 子どもが自分から読みたくなる環境づくり

子どもが手に取りたくなる資料の収集や棚づくり、子どもが利用しやすく安心して過ごすことができる環境づくりを行います

取組み事項	概要	具体的な取組み例
幅広い資料の収集と管理	読み継がれている資料、新しく選書した資料など様々な資料をバランスよく収集し、適切に管理します	・各年代に合わせた紙、電子、布、大活字、点字、大型、紙芝居、外国語など、様々な資料の収集 ・買替や複本購入の実施 ・資料の利用状況による破損等の確認管理
手に取りやすい本棚の維持管理	子どもの力で安全に資料を取り出せる棚づくりを進めます。また、興味関心を引き出すための工夫を取り入れます	・子ども目線での資料の見せ方の工夫（面出し・展示など） ・子ども目線での安全管理の実施（書架などの物品・展示物など） ・子どもが取り出しやすく、戻しやすい棚づくりの実施 ・読書バリアフリーに対応した棚づくりの工夫
利用案内の充実、環境の整備	図書館利用案内の継続した発行、適切な改訂とともに、館内設置機器の利用方法の案内や支援を実施します	・やさしい日本語を用いるなど「子ども向け図書館利用案内」の継続した発行と改善 ・OPAC⁶の利用方法の案内・支援 ・データベースの活用方法の案内・支援 ・子どもが職員に話しかけやすい雰囲気づくり



布絵本の一部（2種類）



としょかん りようあんない

⁶ OPAC:蔵書検索のための利用者用端末のこと

施策2-3 一人ひとりの発達段階に合わせた適切なサービスの提供

発達段階や読書への関心及び経験値の差により、求められる資料案内やリテラシー教育は一人ひとり異なることを前提に、快適に読書や調べものを楽しめるように取り組みます

取組み事項	概要	具体的な取組み例
一人ひとりの発達段階に合わせた資料案内の作成・改訂の実施	ブックリスト(テーマ別資料一覧)やパスファインダー(テーマ別調べもの案内)などの作成や改訂を進めます	・各種ブックリストの更新 ・子ども向けパスファインダーの作成・改訂
情報リテラシーの育成・支援	情報の適切な取捨選択や活用に必要な力を育むための支援を行います	・学校教育と連携した情報リテラシーの育成・支援 ・調べもの支援の継続実施
配慮が必要な子どもたちへの支援	様々な特性を持つすべての子どもたちが読書や学びを楽しめるように読書バリアフリーを推進します	・大活字本やマルチメディアデジなどの資料の収集、提供 ・「りんごの棚」の充実・周知(関連施策1-6)



よんでみよう！
1年生～6年生



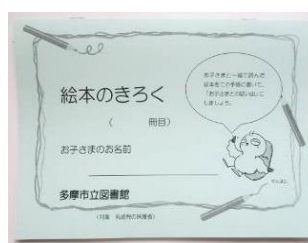
多摩市立図書館ニュース
(小学生とその保護者向け、
中学・高校生向け)



夏休みに、これ読んで！
(1年生～3年生向け、
4年生～6年生向け)



絵本はともだち



絵本のきろく



赤ちゃんから絵本を
～赤ちゃんといっしょに楽しむ絵本～



多摩市立図書館が
おすすめする絵本のリスト

施策2-4 子どもに関わる施設・教育機関・団体・個人への協力・支援・連携

子どもに関わる施設や多摩市立小中学校以外の教育機関等での図書館資料の活用を推進するとともに、お互いに連携して、様々な角度から読書活動につながる事業を実施します

取組み事項	概要	具体的な取組み例
団体貸出サービスの実施	個人貸出より冊数・期間とも拡大するなど、各施設等で利用しやすい団体貸出サービスを提供します	・団体貸出の継続した実施 ・多摩市内の幼稚園、保育所、児童館、学童クラブへのセット貸出・セレクト貸出サービスの利用促進 ・団体貸出室内の安全確保のための環境整備
施設・教育機関・団体・個人活動への協力・支援・連携	子どもの読書活動を推進する施設等への協力・連携などを通じて、その活動を支えます	・幼稚園、保育所等の外部での活動への協力 ・市内の都立・私立学校等における探求学習等への協力・支援 ・外部組織や個人による事業実施に向けた支援・協力 ・リサイクル図書の配付
子ども・子育て支援を行なう部署との協力・支援・連携	子どもを対象とする様々な事業の場等を読書活動につなげる場として活用していきます	・様々な事業等における事前学習などへの支援 ・読書活動を直接 PR できる乳幼児健診等の場の活用
アウトリーチ活動による子どもの読書活動の推進	子どもが集まる場所へ積極的に出かけ、読書活動につながる活動を行います	・公園や児童館などの市内施設と連携した事業の実施
おはなし会等子どもの読書活動に関心のある方への支援	子どもの読書活動の推進を実践している・検討している方々への支援を行います	・読み聞かせ講座の定期的な開催 (関連施策4-3)



多摩市子ども被爆地派遣事業における事前学習の様子



テーマ展示の様子

施策2-5 多摩市立小中学校への協力・支援・連携

図書館システムと学校図書館システムを連携させる一元管理を継続し、学校図書館の蔵書構成を補い、また図書館訪問などの校外活動の受入などを中心に、学校全体を支援します
学校図書館においては、環境整備の向上を図るとともに、指導者同士の連携を密にし、子どもたちへの適切な助言・指導を行いながら読書活動を支援します

取組み事項	概要	具体的な取組み例
システム連携の継続による学校図書館への支援	図書館と学校図書館のシステムを連携させた一元管理を継続し、学校全体の支援につなげます	・各単元での調べ学習等に必要な資料の提供 ・資料移管による学校図書館蔵書構成の補強 ・学校独自購入資料の書誌作成の支援 ・連絡車の効果的な活用と安定した運行の実施
市立小・中学校、学校図書館司書、司書教諭への協力・支援	学校の各種活動や取組みを支えます	・小学2年生図書館訪問の受け入れ・実施 ・中学2年生職場体験学習の受け入れ・実施 ・校外学習への協力・支援 ・多摩市立図書館、多摩市電子図書館の定期的な利活用の案内・情報提供の実施 ・多摩市電子図書館の学校内での活用の検討・実施 ・リサイクル図書の配付 ・学習に利用するための廃棄新聞の提供
教職員への働きかけ	図書館資料の有効活用を図るために、学校内での活用方法などの案内を継続して実施します	・校外学習や探究学習などにおける図書館利活用の案内 ・図書資料、電子書籍の学校内での活用方法の案内
学校図書館の環境整備	多摩市立図書館の蔵書を最大限に活用し、学校における子どもたちの読書環境の向上を図ります。併せて、読書活動等を楽しむことができる「居場所」としての環境づくりを進めます	・多摩市立図書館の蔵書の活用 ・子どもたちの深い学びを効果的に進められる環境づくりの検討・推進 ・学校図書館のセンター機能の効果的な活用に向けた検討・推進

学校図書館司書・司書教諭・担任等、指導者の連携による読書活動の効果的な推進	指導者同士で連携し、子どもたちの発達段階に合わせた適切な助言・指導を行い、読書活動を推進します	・子どもたちの発達段階や興味関心に合う資料の情報共有の実施 ・子どもたちへの資料紹介の実施 ・子どもたちと家庭へ向けた「学校図書館だより」の定期的な発行の継続 ・学校図書館の使い方や調べ学習等での資料の活用方法の指導に向けた連携 ・授業における学校図書館の活用促進 ・子どもたちが主体となる読書活動推進に向けた取組みの検討・実施
--	--	---

【評価指標】

評価指標	令和6年度実績	令和11年度末の目標
「子どもと本を楽しみたい」という思いのある保護者の割合	91.5% 1歳6か月健診及び3歳児健診 受診対象者	99% 1歳6か月健診及び3歳児健診 受診対象者
1か月に1冊以上の本を読んだと答える児童・生徒の割合 (手に取り、少しでも読み進めたものを含む。ただし、雑誌、マンガは除く)	小学2年生…89% 小学5年生…80% 中学2年生…69% 高校2年生…41% 小学2年生:読書を「好き・どちらかといえば好き」と答える児童・生徒の割合	小学2年生…95% 小学5年生…90% 中学2年生…80% 高校2年生…75%
多摩市立小中学校への調べ学習支援への対応件数(延べ)	小学校(17校/17校) 287件 中学校(8校/9校) 53件	小学校(17校)300件 中学校(9校)60件

コラム

「地域文庫からのあゆみや現在の活動について」

多摩ニュータウンの入居が始まった当時、多摩市には図書館がなく、地域の方たちによる「地域文庫」の活動が始まっています。本の貸出をはじめ、読み聞かせ、本や図書館等についての学習会の他、地域の催し物への参加など、地域をつなぐ活動をされていました。

この「地域文庫」こそが、多摩市立図書館の原点であり、現在も活発に活動が続いている「おはなし会ボランティア団体」にほかなりません。幼稚園や学校などへも出かけ、たくさんのおはなしを届けてくれる、大切な存在。

現在、10を超えるおはなし会ボランティア団体や個人ボランティアの協力により、図書館で定期的なおはなし会を開催しています。その他にも地域で読み聞かせをする団体等があり、子どもたちへ本の楽しさを伝える活動が盛んに行われ、現在も継続されています。

子どもたちの素直な反応を間近で感じることができる読み聞かせ。

皆さんも始めてみませんか。



基本方針3 市民のしらべるを支援、役立つ 図書館

市民が様々な場所で読書や暮らし、地域の課題解決ができるよう、豊かな読書を支える情報拠点として、多様な媒体の資料や情報を収集、提供するとともに、レファレンスサービスや情報提供の充実を図るため、他の図書館、近隣大学、他の機関とも連携していきます。また各図書館は地域住民の生涯学習や地域の課題解決に役立てられるように地域性を活かしたサービスに努めます。

多摩市や多摩ニュータウンなどに関係する地域資料を収集し、活用を通じて地域文化の継承と新たな創造を支えます。

【施策】

- 3-1 蔵書・電子書籍の充実と活用促進
- 3-2 多様な情報源を活用したレファレンスサービスの提供・充実
- 3-3 地域資料等の活用による課題解決支援や地域文化の継承
- 3-4 読書活動に関心を高めるための事業の実施
- 3-5 読書活動に取り組む団体の協力・支援・連携
- 3-6 各図書館の地域性を活かしたサービスの提供

【取組み内容】

施策3-1 蔵書・電子書籍の充実と活用促進

利用者からの要望の多い紙媒体の蔵書を充実させるとともに、電子書籍のコンテンツを増やし、電子図書館の利用を促進します

取組み事項	概要	具体的な取組み例
積極的かつ網羅的な資料収集と活用	紙媒体の資料を網羅的に収集・活用するとともに、電子書籍を積極的に活用します	・拠点館・地域館の魅力的な棚づくりに向けた蔵書の充実 ・中央図書館、拠点館、地域館間での蔵書の循環などの適正な管理方法の検討 ・地域資料などを整理・保存・提供することによる、蔵書の充実 ・一般資料から児童書、電子書籍を含めた様々な資料を収集 ・庁内各課と連携した地域課題解決のための連携企画展示の実施 ・中央図書館の蔵書充実（開架書庫に20万冊）



中央図書館書架

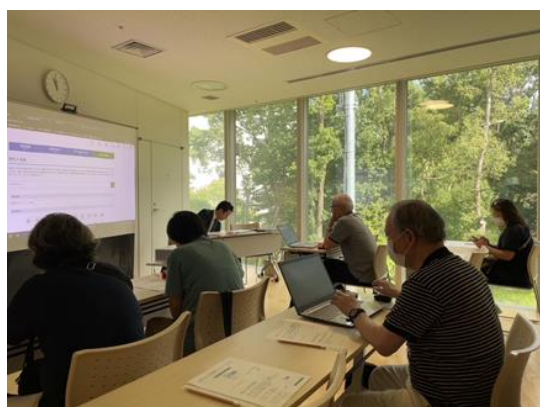


庁内各課と連携した展示の様子

施策3-2 多様な情報源を活用したレファレンスサービスの提供・充実

情報や資料に利用者が容易にたどり着くことができるよう、多様な媒体によるレファレンスサービスを提供します

取組み事項	概要	具体的な取組み例
多様な情報源を活用したレファレンス機能の強化	市民の調べものに対し蔵書やインターネット等を活用し、レファレンス（調べもの案内）を実施するとともに、レファレンス事例を蓄積し公開します	・講座や説明会の実施など、レファレンスサービスの周知 ・レファレンス事例の多摩市立図書館ホームページでの公開及び、国立国会図書館のレファレンス協同データベースへのデータ登録を促進 ・調べものに役立つ資料としてパスファインダーの作成・更新を行い、デジタル情報を提供
利用者の図書館資料や情報活用（情報リテラシー）の支援	利用者が自分で情報を調べ、整理し、発信するための支援を行います	・情報リテラシー向上のため、スマートフォンや電子図書館の使い方などの利用講座を関連機関と連携し、実施 ・資料検索や商用データベース等の利用講座を実施するなど利用者の情報リテラシーの向上を支援



オンラインデータベース利用講座の様子



民間施設での電子図書館利用説明会の様子

施策3-3 地域資料等の活用による課題解決支援や地域文化の継承

地域の課題解決や地域文化を継承するため、地域資料の収集・整理・保存・提供を進めます

取組み事項	概要	具体的な取組み例
地域資料のデジタル化及び継続的な収集、保存	地域資料を継承するため、継続的に収集するとともに、その保存を進めます	・地域資料に欠落が起こらないよう、定期的な資料の確認 ・地域資料の利活用のため、地域資料のデジタル化を段階的に促進 ・多摩市デジタルアーカイブのコンテンツの充実及び利活用の促進 ・ボーンデジタル⁷の行政資料収集・保存・活用の検討
地域資料等の活用による地域課題の解決支援	地域資料等を活用し、様々な主体と連携して地域課題の解決支援に向けた事業を実施します	・地域課題に関する講座等の実施 ・庁内各課との連携企画展示や関連講座の実施
地域文化の継承	地域文化に関わる資料を収集、保存し情報提供をし、地域文化の継承を図ります	・中央図書館と行政資料室との連携による、地域資料の保存方法の検討



連携企画展示の様子



中央図書館地域資料書架

⁷ ボーンデジタル:紙資料を介さず最初からデジタルだけで作成されたもの

施策3-4 読書活動に関心を高めるための事業の実施

図書館をあまり利用しない市民も対象とした読書や図書館への関心を高めるためのイベントを図書館主催だけでなく関心がある市民や近隣施設等とも連携し実施します

取組み事項	概要	具体的な取組み例
図書館や読書、本への関心を高めるためのイベント等の実施	図書館や読書、本への関心を高めるためのイベント等を企画・実施するとともに、近隣施設等と連携し実施します	・講演会や読書に関する講座等の実施 ・へなそうのへや⁸に関する講座等の実施 ・近隣施設や公園、事業者等と連携したイベントの実施やイベントへの協力 ・市内書店と連携した読書、本への関心を高める取組みの実施及び新たな取組みの検討



「へなそうのへや」関連講座の様子



近隣民間事業者との連携イベントの様子



市内書店店舗でのおはなし会の様子

⁸ へなそうのへや: 多摩市在住だった児童文学作家故渡辺茂男氏を紹介するコーナーとして中央図書館に設置

施策3-5 読書活動に取り組む団体の協力・支援・連携

地域で読書活動に取り組む団体等に対し、読書活動に必要な資料の貸出や図書館内で読書活動を実施する際に場所の提供など必要な支援や連携を行います

取組み事項	概要	具体的な取組み例
読書活動に取り組む団体への団体貸出の促進	地域で読書活動を行っている団体等に必要な資料の団体貸出を実施します	・団体の活動に必要な資料の貸出
読書活動に取り組む団体の活動支援や連携	地域で読書活動を行っている団体等が図書館内で活動する際の場所の提供や活動内容、活動場所の広報への協力を行います	・団体等が読書活動を図書館内で行う際の活動場所の提供や活動内容、活動場所の広報協力



パルテノン多摩 ライブラリーラウンジの様子



中央図書館 団体貸出室

施策3-6 各図書館の地域性を活かしたサービスの提供

その時々ニーズや課題にあわせて、各図書館の特徴や立地などを生かし、使い分けができるような図書館サービスを提供していきます

取組み事項	概要	具体的な取組み例
各図書館での地域性を活かしたサービスの提供（全館共通）	各図書館で地域性を活かし、書架の魅力化やテーマ展示等を行い、地域住民の読書や学習を支援します	・各図書館で地域性を活かした書架の魅力化を図り、テーマ展示等を実施するなどサービスを充実させる ・近隣施設や複合施設等と連携した読書活動振興の取組みの実施
中央図書館	豊富な蔵書を活かしたサービスを提供します 障がい者サービスの充実を図り、提供します	・閲覧、学習できる場、席の提供、適正管理 ・調べものの相談がしやすい環境の整備 ・パートナーズスペースの活用法の検討 ・サテライトカウンターの活用 ・デジタルサイネージのより一層の活用 ・障がい者サービスの利用促進
東寺方図書館	家庭でも職場でも学校でもない第三の場としての機能や場として、地域住民の読書や学習、課題解決に寄与します 近隣施設、団体との連携を促進していきます	・日常の対話からニーズを把握し、読書相談がしやすい環境や場の整備 ・近隣施設、団体と連携したおはなし会の実施や団体貸出の実施 ・掲示板を活用したわかりやすい情報提供 ・複合施設の講座等を意識した展示の実施
豊ヶ丘図書館	様々な世代の利用者が職員に声をかけやすく、気楽に相談でき、利用者のニーズにそったサービスを実施します	・幅広いテーマで利用者が楽しめる企画展示 ・どんなことでも相談しやすい雰囲気づくり ・複合施設や近隣の民間会社と連携・協力し、地域づくりに資する取組みを実施

関戸図書館	赤ちゃんから高齢者まで、生涯学習を支える機関として、地域の特性を活かし様々な世代が利用しやすい魅力あるサービスを実施します	・駅前立地を生かした幅広い年齢層（子ども～学生～高齢者）へのサービスの充実 ・幅広い世代の相談にじっくり対応できる窓口サービス体制の構築 ・隣接する医療施設利用者の希望に対するレファレンス、資料提供
聖ヶ丘図書館	地域の様々な世代利用者（高齢者、子ども、子育て世代等）が障害の有無に関係なく気軽に利用でき、また相談できる図書館を目指します	・利用者が読みたい資料をすぐに提供できるよう職員のスキルアップを実施 ・子育て世代が気軽に来館できるよう児童館と連携して赤ちゃんおはなし会などの事業を実施 ・地域の児童施設や障がい者施設利用者のニーズに合わせた内容を工夫したおはなし会の開催 ・人生経験豊富で、様々なことに関心の高いシニア（高齢者）世代をサポート ・対面朗読室などの設備を活かした障がい者サービスの実施
永山図書館	地域住民だけでなく駅を利用する学生など様々な年代の利用者の多様なニーズに適切に対応できる図書館にします	・子育て世代に向けた子育て情報の提供、PR ・話しかけやすい雰囲気づくり、利用者対応の充実 ・学習する機会の提供、案内 ・複合施設としての良さを活かした活動とPRの充実 ・近隣の中学校・高等学校の図書委員会との連携による企画展示を実施 ・対面朗読室などの設備を活かした障がい者サービスの実施
唐木田図書館	様々な世代が利用しやすい地域に密着した、親しみのある図書館にします	・様々な世代の方が、気兼ねなく利用できる環境づくり ・併設の児童館やコミュニティセンターと連携しイベントを行い、図書館のPRを実施 ・対面朗読室などの設備を活かした障がい者サービスの実施

行政資料室	行政資料やデータベースを活用し多摩市や行政について調べる利用者をサポートします	・行政資料室の役割や所蔵資料について周知 ・行政資料に関するレファレンスの充実、事例の蓄積、公開
-------	---	---

【評価指標】

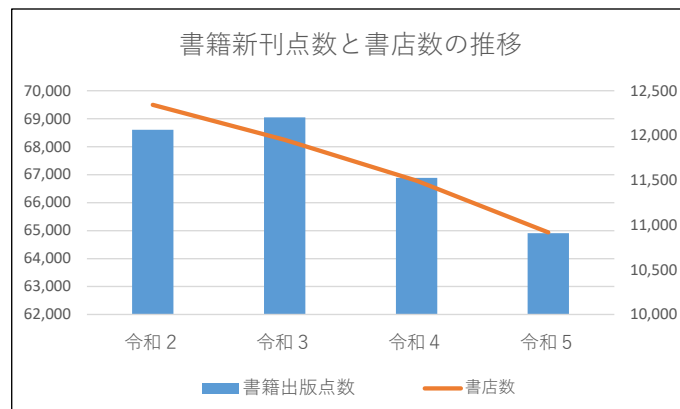
評価指標	令和6年度実績	令和11年度末の目標
外国語資料（電子書籍を含む）所蔵数	紙：7,367冊 電子書籍：334点	紙：8,000冊 電子書籍：500点
レファレンス協同データベースのレファレンス事例公開件数	189件	220件
多摩市電子図書館閲覧回数（月平均）	3,308回	3,800回
多摩市デジタルアーカイブコンテンツ件数	3,226件	3,300件

コラム 「本のまちプロジェクト について」

本のまちプロジェクトは、令和5年の中央図書館の開館を機に始まった丸善との連携を令和6年度から市全体に広げ、桜ヶ丘地区、永山地区、多摩センター地区の4書店（くまざわ書店桜ヶ丘店、くまざわ書店永山店、啓文堂書店多摩センター店、丸善多摩センター店）と図書館3館（関戸図書館、永山図書館、中央図書館）が連携し、イベントやテーマ展示などをおこなう取り組みです。プロジェクトを通じて書店や図書館相互の利用を増やしていくことを目的としています。

近年出版点数の減少と比例し、書店の数も減少傾向にあります。図書館では、その時に話題になっている本をすぐに手にとることはできない一方、書店では、話題の本をすぐに手に入れることができます。市民にとってはどちらも文字や文化に触れる大事な場所です。

文部科学省のホームページで、書店と図書館の全国の連携事例が紹介されています。



資料：公益社団法人全国出版会・出版科学研究所「出版指数年報」「日本の書店数」

基本方針4 持続可能な図書館の管理・運営体制の充実と強化

中央図書館を中心として市内の図書館7館及び行政資料室それぞれの特徴を活かした図書館システム（ネットワーク）を維持し、市民の読書や学ぶ環境を提供します。また、利用者サービスのより一層の向上のため、ICT技術など新しい技術の導入や他の図書館及び異業種の発想や手法を積極的に学び活用することにより、弾力的、効果的な管理・運営に努めます。

図書館運営の基本として、図書館のサービス計画や資料構築など、図書館政策の基幹の部分については、市職員による直営で、継続性を担保していきます。また、庁内の各所管、学校、団体、関係機関などと幅広く連携し、協力を得ながら、管理運営を行っていきます。

【施策】

- 4-1 各図書館の機能強化・運営体制の整備
- 4-2 ICTの活用によるサービス向上・効率化
- 4-3 ボランティア活動の促進
- 4-4 職員の専門性向上と関係機関との情報共有の促進
- 4-5 市民ニーズの把握・反映

【取組み内容】

施策4-1 各図書館の機能強化・運営体制の整備

中央図書館を中心とした図書館のネットワークを深化させることで均質なサービスを提供するとともに図書館全体での機能強化と、効率的・効果的な運営体制の整備を進めます。特に老朽化対応に際しては、図書館ネットワークのもとサービスの再検討を行います

取組み事項	概要	具体的な取組み例
各図書館の機能強化	中央図書館、駅前拠点図書館、地域図書館それぞれの役割に応じた市内図書館での均質なサービスを提供します	・中央図書館の豊富な蔵書を活かした地域図書館で受けたレファレンスの支援 ・地域に密着したサービスの提供
東寺方図書館、唐木田図書館運営体制の検証	試行で運営している東寺方図書館、唐木田図書館の運営体制について、これまでの運営状況を検証し、図書館として方針を決定します	・東寺方図書館、唐木田図書館の運営体制について、これまでの運営状況を検証し、令和11年度末までに図書館としての方針を決定
東寺方図書館、豊ヶ丘図書館の施設老朽化に対する対応	複合施設の老朽化に伴い、施設整備の検討が進められている東寺方図書館、豊ヶ丘図書館の機能等について検討し、対応します	・地域住民などと意見交換し、新しい地域図書館として、機能や設備の検討を実施 ・利用者が気軽に利用できる開かれたスペースや静かに読書や学習に集中できるスペースなど、利用目的に合わせたサービスを検討（豊ヶ丘図書館）



東寺方図書館の写真



豊ヶ丘図書館の写真



唐木田図書館の写真

施策4-2 ICTの活用によるサービス向上・効率化

生成 AI などのICT技術を活用した新しい技術やDXについて情報収集を行い、より利用者の利便性や作業の効率化を図れるよう検討し、サービスの向上を図ります

取組み事項	概要	具体的な取組み例
ICT技術の活用によるサービスの向上、効率化の検討	更新時期等に合わせた図書館システム及び学校図書館システムの見直しや更新によるサービスの向上を図ります	・更新時期等に合わせた図書館システム及び学校図書館システムの見直しの検討 ・ICT技術を生かした新たな機能などの情報収集
DXの推進による作業の効率化やサービス向上	日常業務や図書館サービスについてDXを検討し、業務の効率化や利便性の向上を図ります	・日常業務等でDX化を検討し、実施



予約受取コーナー



セルフ貸出機

施策4-3 ボランティア活動の促進

読書振興や図書館等の施設に関わるボランティアの活動を促進し、市民の読書や学びへの関心を深めます

取組み事項	概要	具体的な取組み例
ボランティアや行政協力員 ⁹ の活動の促進・支援	読書振興や図書館等の施設、運営に関わるボランティアや音訳資料等の資料作成に関わる行政協力員の活動の促進に向けた支援を行います	・市民と協働したイベントの実施及び実施体制の整備 ・読書振興や図書館等の施設、運営に関わるボランティア等の活動支援及び場の提供 ・障がい者サービスを安定して提供するため行政協力員やボランティアの募集、手順等の見直し ・ボランティア同士の交流や意見交換の実施
ボランティアや行政協力員の養成	図書館で活動するボランティアや行政協力員の養成を行います	・各ボランティアの役割に適した養成講座の実施 ・子ども向けおはなし会や読書振興に関わるボランティアの養成や講座受講後のフォローアップの実施 ・音訳資料や点訳資料など障がい者サービス用資料を作成する行政協力員の養成や、技術向上のための研修実施。



子どもの読書活動に関心のある
大人向け講座の様子



市民ボランティア養成講座の様子

⁹ 行政協力員：多摩市立図書館が、音訳資料・点字資料の作成、対面朗読などサービス運営のために、協力依頼をしている専門知識・職能を有する協力員

施策4-4 職員の専門性向上と関係機関との情報共有の促進

職員としての基本的な資質を備えた上で、継続的に、市民の調べものや基本的な問い合わせに適切に対応できる、また高度なレファレンスに答えられる専門知識を持った職員の育成を図ります

取組み事項	概要	具体的な取組み例
職員の専門性の育成	人財育成計画 ¹⁰ に基づき、継続的に専門知識をもった職員の育成に取り組めます	・人財育成計画に基づいた専門知識をもった職員の育成 ・レファレンスサービスや障がい者サービス、児童サービス等の業務に応じた課内研修の実施及び外部研修への参加
関係機関との情報共有の促進	都立図書館などの関係機関からの図書館に関する情報や研修、レファレンスに役立つ情報の入手と共有に取り組めます	・都立図書館や国立国会図書館、日本図書館協会などが発信するレファレンス等に関する情報の入手に努め、職員への共有 ・先進的な取組み事例などの積極的な情報収集と共有



課内研修の様子

¹⁰ 人財育成計画: 令和7年度中に策定予定の「多摩市図書館職員人財育成計画」のこと

施策4-5 市民ニーズの把握・反映

利用者懇談会やアンケート等を行い、図書館サービスについて市民の要望やニーズを把握し、事業の改善に役立てます

取り組み事項	概要	具体的な取り組み例
利用者懇談会を開催し利用者のニーズを把握、反映	市内図書館で図書館サービスについて利用者の意見を聞き、サービスの改善に役立てます	・利用者懇談会を実施し、利用者ニーズを把握し、サービスの見直しや改善を実施
図書館を利用しない市民を含めアンケートによるニーズの把握、反映	図書館を利用していない市民を含めたアンケートを実施し、図書館や読書についてのニーズを把握し、サービスの改善に役立てます	・図書館利用や読書に関するアンケートの実施



利用者懇談会の様子

【評価指標】

評価指標	令和6年度実績	令和11年度末の目標
市民及び市民団体との協働イベント協力者数（団体の場合は団体数）	14人	24人
市民団体による活動室利用回数／利用団体登録数	80回／66団体	100回／70団体
職員研修派遣・実施回数（派遣研修を含む）／参加人数	35回／337人	35回／340人

コラム

「市民協働イベントや交流機能について」

令和5年7月の中央図書館開館に合わせて、皆さんの「やりたいこと」を実現しようとアイデアを募集し、市民協働イベントを実施しました。中央図書館は2階をおしゃべりしてもいい広場系フロアとし、活動室やラーニングコモンズなど、読書や学習だけではなく様々な活動ができるように諸室を整備し、市民協働イベントの定期的な実施に向け、市民の方と実践しながら一緒に仕組み作りの検討をしています。これまで子ども向けおはなし会ボランティアや障がい者サービス行政協力員の皆さんにもご協力いただきましたが、図書館での新たなボランティア活動についても取組みを進めていきます。

中央図書館をはじめとした多摩市立図書館は、市民の皆さんの活動拠点、交流拠点としての役割も果たしていきたいと考えています。



市民協働イベントの様子

	施策番号	課名 又は 施設名	主な取組み内容の例	ターゲット(複数選択可)											備考
				市民全般	子ども(乳幼児)	子ども(小学生)	子ども(中・高生)	支援が必要な子ども	保護者	高齢者	障がい者	外国人	市立小中学校	その他	
1	施策1-1	教育振興課	建て替えや大規模改修工事を実施する際は、児童、生徒の良好な読書環境整備に努める。			●	●						●		
2	施策1-1	障害福祉課	障害福祉課の窓口周辺に、図書館の障がい者サービスに関する展示コーナーを設け、情報提供を行う。					●			●				
3	施策1-1	障害福祉課	テキストデイジー版「障がい者サービスのご案内」を配布する。					●			●				
4	施策1-1	福祉総務課	社会的孤立等で地域との接点が希薄になった方などが、雑談をしたり、お気に入りの本を見つけたり、ゆったりした時間を一緒に過ごす「居場所」を作る支援を行う。 総合福祉センター(二幸産業・NSP健幸福祉プラザ)や多摩市立中央図書館で実施	●											
5	施策1-2	教育センター	ゆうかり教室通室児童・生徒への市立図書館のPR充実			●	●								
6	施策1-2	教育センター	施設内や窓口への市立図書館パンフレット等の設置等によるPR	●											
7	施策1-2	こども家庭センター	「ゆりかごTAMA」妊婦面接において、絵本の紹介、図書館のPR等を行う。		●				●						
8	施策1-2	こども家庭センター	ポスター、パンフレット等の設置	●											
9	施策1-2	障害福祉課	差別解消条例の周知や、障害や障がい者に対する理解推進や差別解消を図るため、障害理解・差別解消をテーマとして図書館での企画展示を実施する。					●			●				
10	施策1-2	多摩保育園	ポスター、パンフレット等の設置	●											
11	施策1-2	多摩保育園	図書館との連携で新刊絵本の紹介		●				●						
12	施策1-2	多摩保育園	「園文庫だより」でPR		●				●						
13	施策1-2	発達支援室	施設内や窓口への図書館パンフレット等の設置等によるPR	●					●						
14	施策1-5	多摩市国際交流センター	定期的に発行している外国人のための生活情報誌において、外国語図書や日本語の学習につながる図書等に関する情報を図書館と連携し、発信する。									●			
15	施策1-5	多摩市国際交流センター	図書館から依頼があった際は、案内等の多言語化を実施し、多様な利用者への情報提供を支援する。									●			
16	施策1-5	文化・生涯学習推進課	多文化共生推進事業、文化芸術関連事業等において、図書館と連携し、関連図書を紹介していく。	●								●			
17	施策1-6	障害福祉課	東京都の制度を活用し、利用者への貸出用機器を図書館が購入する際の支援を行う。					●			●				
18	施策1-6	多摩市国際交流センター	図書館が実施する、外国人等を対象とした読書やサービスに関するアンケートに協力し、日本語を母語としない方々の利用促進を図る。									●			
19	施策2-1	教育センター	保護者の待合室に図書館に関する情報提供をパンフレット等で行う。						●						
20	施策2-1	こども家庭センター	3歳児健康診査時において、保護者への働きかけを行う。						●						
21	施策2-1	こども家庭センター	面接室兼プレイルームに絵本を常設する。		●				●						
22	施策2-1	こども家庭センター	パパママ学級(両親学級)において、妊娠中でこれから母親、父親になる市民向けに本の展示を行う。また情報誌とともに、絵本を含め幅広い書籍に触れることで、本のもつ効果を感じてもらう。						●						
23	施策2-1	こども家庭センター	子ども家庭支援センターでおはなし会を開催することについて、毎週火曜に施設スタッフでの読み聞かせにより、おはなし会を開催した。また、当該事業について、ポスター等で周知した。 記載内容確認		●				●						
24	施策2-1	こども家庭センター	ブレママパパ期からの家庭での読み聞かせへの案内のために、ゆりかごTAMA(妊婦面接)、パパママ学級実施場所に絵本の展示及び図書館の案内の配置を実施。		●				●						
25	施策2-1	児童館・学童クラブ	保護者が集まるスペース等で近隣図書館の事業をPRする。						●						
26	施策2-1	児童館・学童クラブ	地域図書館が併設されていない児童館・学童クラブにおいて、「幼児のつどい」、「常設ひろば(午前中)」、学童クラブの「育成時間(午後)」各施設と連携して図書館がおはなし会を実施し、その中で図書館をPRする。		●	●			●						
27	施策2-1	多摩保育園	定期的な読み聞かせの実施		●	●									
28	施策2-1	永山公民館	子育て広場事業で、ボランティアによる絵本の読み聞かせを行い、資質向上を図る。		●	●			●					●	
29	施策2-2	学校	多摩市立図書館と連携して、電子図書館サービスを広め、児童がすすんで本を読みたくなる環境づくりを促進するため、学校図書館だよりに、多摩市電子図書館のQRコードを貼付して広める支援を行う。			●	●	●					●		
30	施策2-2	こども家庭センター	3歳児健康診査の待合に絵本を展示する。		●										

	施策番号	課名 又は 施設名	主な取組み内容の例	ターゲット（複数選択可）											備考
				市民全般	子ども（乳幼児）	子ども（小学生）	子ども（中・高生）	支援が必要な子ども	保護者	高齢者	障がい者	外国人	市立小中学校	その他	
31	施策2ー2	こども家庭センター	パパママ学級（両親学級）において、妊娠中でこれから母親、父親になる市民向けに本の展示や図書館のパンフレット等の配布を行う。						●						
32	施策2ー3	教育センター	ゆうかり教室通室児童・生徒に対するブックリスト等による情報提供			●	●								
33	施策2ー3	こども家庭センター	乳幼児健診の場で、絵本の展示を実施する。3～4か月児健診の待合時間を利用して、図書館よりブックスタート、絵本の読み聞かせを実施する。		●				●						
34	施策2ー3	発達支援室	ひまわり教室における幼児に対するブックリストによる情報提供		●			●	●						
35	施策2ー4	学校	ICTと紙の資料を活用して学校図書館が提供するサービスの一つ、『デジタル資源カード』を作成し、たくさんの情報の中から、必要な情報を見つけ、自ら比較検討し、取捨選択していく「情報活用能力」を身に付ける支援を行う。			●	●	●					●		
36	施策2ー4	教育振興課	文化財施設等で開催する展示会等を実施する際に、展示に関する解説資料等を作成し、児童・生徒が地域の歴史を知るための資料配布を実施する。			●	●						●		
37	施策2ー4	教育センター	団体貸出図書の利用と体制の充実（図書は相談の待合室に設置する）を図る。			●	●		●						
38	施策2ー4	こども家庭センター	乳幼児健診の場で、絵本の展示を実施する。3～4か月児健診の待合時間を利用して、図書館よりブックスタート、絵本の読み聞かせを実施する。		●				●						
39	施策2ー4	児童館・学童クラブ	ボランティア養成の一環として、読み聞かせの場として児童館・学童クラブ、地域子育て支援拠点施設等を活用する。											●	
40	施策2ー4	関戸公民館	公民館事業「保育室開放デー」と関戸図書館が連携して「おはなし会」を年2回実施する。		●				●						
41	施策2ー4	多摩保育園	団体貸出の利用と計画的な入れ替えを実施する。		●										
42	施策2ー4	多摩保育園	図書館と連携し、近隣図書館に訪問し、見学実施や図書館職員による読み聞かせ。		●										
43	施策2ー4	永山公民館	談話コーナーの場所を活用して、読書コーナーの設置のための場所提供に協力する。			●	●								
44	施策2ー4	永山公民館	おはなし会を実施する場所の提供を行う。		●	●									
45	施策2ー4	永山公民館	永山フェスティバル等のイベントにおいて、おはなし会の実施のための場所提供に協力する。		●	●			●						
46	施策2ー4	発達支援室	「親の会」事業を実施する中で、図書館と連携し、発達障害に関連する本の紹介や図書館の利用案内などを継続して行う。						●						
47	施策2ー5	教育指導課	教職員向け「学校図書館研修」を実施する。										●		
48	施策2ー5	教育指導課	学校図書館司書の研修の実施とともに、情報交換の場を設ける。										●	●	
49	施策2ー5	教育振興課	平成18年10月から実施している図書館システムと学校図書館システムを連携させた一元管理の継続のため、市立図書館との連携を継続していく。記載内容を確認する			●	●						●		
50	施策2ー5	教育振興課	学校図書館の蔵書の効果的な活用を目指し、学校図書館間の資料等の流通について検討する。学校図書館の蔵書の効果的な活用を目指し、学校図書館間の資料等の流通の仕組みを継続する。			●	●						●		
51	施策2ー5	パルテノン多摩	市立小学校や公民館、コミュニティセンター、東京都埋文センター等に学芸員が出張し、多摩の自然や知己の歴史に関する解説・講演会を実施する。			●							●		
52	施策3ー3	教育振興課	文化財施設等において多摩の歴史や文化財に関する展示、体験イベントを開催するとともに、学芸員による展示解説、関連図書の紹介等を行う。	●		●	●								
53	施策3ー3	パルテノン多摩	市民研究員による古文書解読の活動を継続し、パルテノン多摩4階廻廊において展示を実施する。	●											
54	施策3ー3	パルテノン多摩	「古文書講座」を実施し、古文書解読に関心のある方に向けて、レベル別の講座を実施（講座はオンライン併用）する。	●											
55	施策3ー3	パルテノン多摩	「地域資源データベース」を運用し、地域の写真や資料、学芸員や市民学芸員の調査研究の活動成果など、地域の記憶となる情報を更新し、公開していく。	●											
56	施策3ー3	パルテノン多摩	パルテノン多摩において、地域の歴史、民俗、自然科学など学習の機会を提供していく。	●											
57	施策3ー3	パルテノン多摩	特別展示を行った図録を中心に資料図書の充実を継続していく。	●											
58	施策3ー3	パルテノン多摩	市内書店や図書館と連携展示等を実施し、さまざまな市民に向けて、地域の歴史・自然等に関する学習機会を提供する。	●											
59	施策3ー4	発達支援室	講座・講演に合わせた展示の充実（テーマ、関心事に合わせた展示の実施）	●				●	●						
60	施策3ー5	パルテノン多摩	図書館職員と連携し、お薦めの子供向け図書を4階こども広場に配架していく。		●	●									
61	施策4ー5	児童館・学童クラブ	図書館は地域図書館が併設されていない児童館・学童クラブ、地域子育て支援拠点施設などでの出張読み聞かせに取り組むとともに、各施設の利用者ニーズを理解し、施設職員との連携を図り、地域単位での関係づくりを行う。	●											